

天満屋倉敷店 2017年11月の画廊予定

◎ 4階美術画廊

会 期	内 容
10/27(金)～11/2(木)	<p>スタンドグラス 豊本善隆・信子父娘展</p> <p>真庭市湯原に工房を構え創作活動をされている豊本善隆先生と長女の信子先生。かつて美観地区近くに工房を構えていたため、倉敷に多くのファンがいらっやいます。スタンドグラスに独自の絵付け技法を取り入れており、詩情豊かでオリジナリティーあふれる作品から放たれる色ガラスの優しく温かい光が幻想的な世界へ誘います。善隆先生、信子先生あわせて約40点を出品いたします。</p>
11/3(金・祝)～11/9(木)	<p>備前 馬場隆志展 一刻—</p> <p>備前焼若手作家・馬場隆志先生の作品展です。東京藝術大学彫刻科で学んだ造形力と表現力を生かした作品は、土の持つ味わいとエネルギーをしっかりと表現し、力強い作品から丸みのあるしなやかな作品まで見る者の想像力をかきたてます。本年は、備前陶心会展岡山県知事賞(最高賞)、岡山県美術展岡山市長賞など受賞を重ね注目を集めています。独特のフォルムと変化のある焼けで作られたオブジェや花器、酒器、食器など約80点を一堂に展覽いたします。</p>
11/10(金)～11/16(木)	<p>—古代文字の美学— 岡本倅久展</p> <p>倉敷市在住の洋画家岡本倅久先生の作品展です。岡本先生は独学で絵画制作を始め、新聞記者や倉敷市立美術館館長という二足のわらじを履きながら画家としての道を歩んでこられました。岡山県美術展で山陽新聞社大賞を受賞後個展を中心に活動され、近年はアメリカニューヨークでの展覧会も開催しています。今展では、外国の文字の美しい形体に魅せられ、それを作品に用いた現代アートを平面・立体の両方で表現しています。30余点の出品です。</p>
11/17(金)～11/23(木・祝)	<p>木口敬三心象風景展 —その光と影—</p> <p>多彩な技法と高い精神性で、独自の抽象表現の世界を展開する木口敬三先生の作品展です。武蔵野美術大学を首席で卒業後、フランス政府私費留学試験に合格しパリに留学。帰国後は倉敷を拠点に制作活動を行い、数々の国際版画展に入賞・入選されています。瞬間のきらめきやその光と影を捉えた魅力あふれる銅版画や、アクリル・色鉛筆・水彩・パステルなどを用いたミクストメディアの新作約30点を出品いたします。</p>
11/24(金)～11/30(木)	<p>—還暦記念— 酒津焼 岡本研作陶芸展</p> <p>倉敷の地に明治2年に開窯し、一度も窯の火を絶やすことなく父子相伝にて伝統を継承してきた酒津焼。現存する倉敷最古の焼物とされるこの酒津焼の窯元六代目岡本研作先生の還暦記念展です。壺や花器、茶陶、酒器、食器など生活に潤いを与える温かみのある作品約100点を展覽いたします。</p>

営業時間 午前10時～午後7時30分

作成：美術画廊担当 国光

いずれも会期最終日は、午後3時に閉場いたします。

※会期・タイトルは都合により変更することがあります。

※出品内容に変更がある場合があります。

お問合せ

天満屋倉敷店 販売計画

TEL 086-426-2205

FAX 086-426-1136